

テキストを用いた夜間景観の評価手法

駒井 大輝¹・田中 一成²

¹学生会員 大阪工業大学大学院 工学研究科 建築・都市デザイン工学専攻 (〒535-0002 大阪市 旭区大宮 5 丁目 1 6 番, E-mail:m1m18106@st.oit.ac.jp)

²正会員 大阪工業大学 工学部 (〒535-0002 大阪市旭区大宮 5 丁目 1 6 番, E-mail:kazunari.tanaka@oit.ac.jp)

人種・性別・世代を問わず多くの人々を魅了する都市の夜間景観は、現代の都市生活における癒し等の効果だけでなく観光客収集の可能性等を大きく秘めているといえる。夜間景観の種類や対象場に含まれる物的要素が生み出す魅力の違いについて、これまで多くの方法が検討検証されてきた。本研究では、さまざまな心理に影響を与えると考えられる夜間景観について、その魅力の要因を歌詞テキストを用いて統計的に分析することで、視覚的な夜間景観に対応した心理の差異とこれらによる夜間景観の分類、およびテキストを用いた評価ツールの可能性を考察する。

キーワード:夜間景観, 心理分析, 歌詞

1. はじめに

夜間景観(以下「夜景」)は、人種・性別・世代を問わず多くの人々を魅了し、様々なストレスを抱える現代人にとって、癒しをもたらす視覚的な刺激のひとつとなっている。また、夜景は観光など集客の可能性もっている。都市の俯瞰的夜景は多くの都市においてみられ、また同じ都市にもさまざまな視点場が存在し、それぞれが個性をもっている。

近年、スマートフォンの普及やカメラのデジタル化などにより、人々が日常的に写真を撮影する機会が増えている。夜景の視点場を訪れる人々の多くは、夜景をカメラで撮影し、撮影した夜景写真をSNSに投稿する。その投稿が話題となり人気の夜景スポットなる。人気の夜景スポットを求め観光客が増加し地域活性化へと繋がる。伝統的に魅力のある夜景があり、新たに生まれた夜景がある。これらSNSへの投稿は、夜景の魅力を示しており、投稿者がそれぞれの立場や心情から魅力的と考える写真を投稿している。

これまで、投稿された写真について、そこに付属するテキストをもちいて魅力をみいだそうとする研究、写真に対してあらためて心理実験等により魅力を抽出しようとする研究が行われており、夜景の魅力が抽出されている。夜景には、そこを訪れる際に感じる、あるいは考えさせる場所特有の特徴、視覚的、あるいは視覚に影響を与える他の感覚による特徴等があり、さまざまな想いを抱かせる空間や、多くが同様の気持ちを抱く空間があるといえる。夜景の魅力を見出すためには、そこに見える

もの聞こえるものと人々の意識の関係に着目することも着眼点のひとつであると考えられる。

一連の研究では、主に歌詞を用いて対象や視点場と心理との関係を統計的データとしてまとめ、これをツールとして俯瞰景観を中心とした夜景を分析している。ここでは、テキスト抽出を用いた分析手法を中心に報告する。

2. 歌詞によるテキスト抽出と夜景の評価

SNSより抽出した俯瞰景観を中心とする夜景写真について、その構成要素と心理を表す歌詞との関係について把握を行った。ここでは、夜景の構成要素(夜景テキスト)を取り出し、それぞれについて心理評価を示すの語(心理テキスト)をまず並列的に整理した。

表-1 夜景と心理の抽出

夜景テキスト	心理テキスト
街	恋しくて、奇跡、乗り越える、つらい、こわい
光	輝き、見守る、幸せ、miss、果てる、切なく
空	輝き続ける、抱きしめる、幸せ、壊す、枯れる、さよなら
夜空	大切、さよなら、眠れない

分析の結果、夜景から受ける感情が具体的に明らかとなった。夜景はその美しさで人々を魅了しているが、夜景を見て美しいと表現しているのはほんの一部の表層部分の感情である可能性を見出した。図2上の写真は、その一例であり美しい夜景を「つらいけれども乗り越えなくてはならない」と感じて見る可能性が高いといえる。この

ような分析から、人々は夜景を見て様々な感情を、意識の有無にかかわらず持っていることが分かった。また、今回対象とした写真に関しては、ポジティブとネガティブの感情が共存している傾向が多数あった。それぞれの写真における対象となる構成要素について、対応するイメージがポジティブとネガティブの両者がある、あるいは共存する可能性を見出した。これらが人々を魅了する夜景の魅力を引き出す方法を示唆しているのではないかと考える。

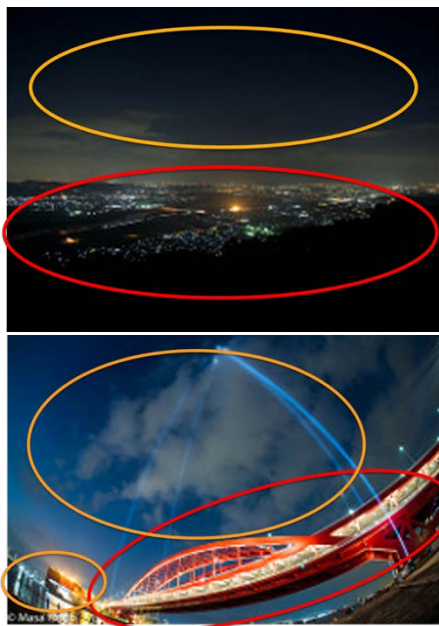


図-1 抽出した夜景写真とその構成要素

3. 夜間景観フレーズの抽出

上記の方法は、イメージを分析するために用いた歌詞は、楽曲全体が夜間と関係があるものを抽出し、全体に対してテキストの関係を仮定してきた。しかし、歌詞以外の詩や物語におけるテキストを考慮した場合、多くは一部分が夜間に関係し、その魅力を要素とともに表現しているものも多い。このため、ここではまずテキストの取り扱いについて再検討する必要があると考えた。分析には再度歌詞を用いるが、その理由としては無意識に感じている感情を人気の楽曲が有する歌詞から取り出すことができるのではないかと考えたからである。歌詞の収集方法として、人気の楽曲の歌詞の中に夜に関する言葉が入ったものを収集し、テキストマイニングを用いて分析を行った。テーマが夜のもは同様に全てを対象に、まとまり（段落または行として表現）の内部に夜を表現す単語をもつものはその部分を単位として抽出し、全て最小単位（フレーズ）ごとにその中での物理的要素と心理（直接表現／間接的表現）に関するものを抽出した。

対象としたのは、1985年から1994年までの10年間の売り上げ20位内の夜に関する言葉がある歌詞とし、116曲の1150フレーズが対象となった。

4. 分析

収集結果の一部を表2に示す。表2では、星や月に関係するテキストを提示しているが、ここでは星についてネガティブ側の表現が、逆に月についてポジティブ側の表現がみられることがわかる。

表-2 夜を示す言葉と共起語の例

夜景テキスト	共起語
星	不思議な、ときめき、淋しい
星屑	悲しみ、優しい、街
星空	哀しい
shinin' star	微笑み
月	切なすぎる
三日月	公園、路地裏、微笑み、街
月明かり	沈黙
月の光	探す、夢、素敵

この手法では、夜景テキストとその共起語の関係がより強い結びつきを持っており、心理量に対応した夜景の物理的な構成要素や視点場等についての評価の可能性を示している。分析では、共起語中の構成要素等と心理との関係についても抽出しており、心理を表す表現の範囲と各語におけるその差異を検討しているが、サンプル数から統計的に十分な成果が得られていない。このことから、より多くのデータを収集すること、また夜景テキストをまとめる等方法を検討することが必要となる。

5. まとめ

本研究では、歌詞から抽出したテキストを用いて、夜間景観を評価するツール作成を試みた。ここでは2つの段階的な試行から明確な差異などが生じる可能性をみいだしている。今後は、情報量をさらに増やすことによりこの手法の検証を行う。

参考文献

- 1) 堤博紀, 田中一成, 吉川眞: 都市空間における光環境に着目した境界について, 土木学会関西支部年次学術講演会公演概要集, IV-14, 2013
- 2) 大崎 雄治, 吉川眞, 田中一成: ソーシャルメディアを活用した景観の分析と評価: 観光地を対象として, 日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 15(0), 13-16, 2017